

令和7年度（2025年度）学校評価報告書

北海道教育委員会教育長 様

令和8年（2026年）3月1日
北海道野幌高等学校長

次のとおり、令和7年度（2025年度）の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標 「生徒の一人ひとりの特性に応じた指導と社会に開かれた教育課程の実践」				2 本年度の重点事項 ○生徒個々の特性に応じた学びの深化に向けたカリキュラム・マネジメント ○生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、自己の可能性を多編める人間力の育成 ○生徒一人ひとりに目を向けたキャリア教育ときめ細かな進路指導の充実 ○健康の保持増進と安全意識の醸成				学校関係者評価の結果	
領域	評価項目・指標等			教職員 下段は前年	保護者 下段は前年	改善方針	達成状況	改善方針の 適切さ	
	対象	中期目標	今年度の目標実現に向けた指標						
学校運営	学校づくり	社会に信頼される学校づくり	アンビシャススクールにおける教育課程の編成と実施など、スクールミッションに基づく学校運営を進めたか。	2.9	3.0	引き続き、総合的な探究の時間の充実を図り、関係者を巻き込んだ発表会を実施し、地域と連携した教育活動の深化を図る。	A	A	
			教育活動に関わる積極的な情報提供により説明責任を果たしていたか。	3.0	2.9		地域の人と高校生が学校外で交流する機会を増やすことが、生徒の成長や変化に対応した学校づくりにつながる。また、「総合的な探究」の発表会を関係者を招いて実施でき、保護者評価も昨年度より改善し、計画は順調に進んでいる。		
			保護者や地域と連携しながら教育を進めるとともに、迅速、適切な対応ができたか。	3.1	2.8				
			情報共有と連携に努め、報・連・相の質を高め、組織力の向上に努めていたか。	2.9	2.7				
			組織的かつ効率的な業務推進に向けて、迅速な評価・改善を行ったか。	2.8	2.9				
			組織改善や業務効率化などに向けた業務改善に取り組んでいたか。	2.9	2.8				
	日常的な施設設備の点検や安全確認が適切に行われていたか。	3.3	2.9						
	組織運営	課題の共有と解決に向けた協働体制の確立	教職員の資質・能力向上に係る目標を定め、面談や授業参観等の研修を充実させ、教職員としての幅を広げる取組が行われていたか。	2.9	2.8	・カリキュラム・マネジメントの視点を維持しながら、関係者評価の実施方法や内容、時期を再検討し、情報共有と報・連・相の質を高め、組織的かつ効率的な業務改善と安全管理の向上につなげる。	A	B	
			教育公務員として使命感や責任感を持ち、信頼される教職員集団づくりに向け、服務規律と法令遵守を徹底する取組が行われたか。	3.0	2.6		組織として一体感を持って取り組むことの重要性について意見があり、達成状況は概ね良好と認められた。一方で、関係者評価の実施方法や内容、時期の再検討については昨年度に続き課題となっており、進展が望まれる。		
			教育公務員として使命感や責任感を持ち、信頼される教職員集団づくりに向け、服務規律と法令遵守を徹底する取組が行われたか。	3.3	2.9				
			教職員の資質・能力向上に係る目標を定め、面談や授業参観等の研修を充実させ、教職員としての幅を広げる取組が行われていたか。	3.0	2.6				
			教育公務員として使命感や責任感を持ち、信頼される教職員集団づくりに向け、服務規律と法令遵守を徹底する取組が行われたか。	3.3	2.9				
教育公務員として使命感や責任感を持ち、信頼される教職員集団づくりに向け、服務規律と法令遵守を徹底する取組が行われたか。			3.3	2.8					
教育公務員として使命感や責任感を持ち、信頼される教職員集団づくりに向け、服務規律と法令遵守を徹底する取組が行われたか。	3.3	2.8							
教育活動	学習指導	教育課程の編成・義務教育段階の学習内容の確実な定着	授業や学習指導の改善に努め、分ける喜びや家庭で学習に取り組む時間を増やすことができたか。	2.7	2.7	・ベーシック授業の実践を検証するとともに、学習状況等調査や学カテストの結果を踏まえた改善方針を教務を中心に共有し、授業改善と主体的に学ぶ力の育成につなげる。	A	B	
			社会教育施設を活用した探究活動を通じて、深く学ぶ意欲を喚起し、探索する力や課題を解決する力を育成できたか。	2.8	2.8		昨年度より改善は見られるものの、本欄は依然として全項目で3点を下回っており、引き続き改善が望まれる。		
			生徒自らが学習目標を設定し、持続的に学習に取り組む姿勢を高める指導ができたか。	2.7	2.9				
			生徒が自己肯定感を高め、他者を尊重する精神や自ら良好な人間関係を形成しようとする姿勢を育むことができたか。	2.7	2.9				
			生徒の状況を的確に把握し、共有し、社会の構成員としてマナーを意識した生活支援をすることで、いじめの未然防止や問題行動等に迅速かつ適切な対応をすることができたか。	2.8	2.8				
			行事や生徒会活動、部活動などにより、生徒の主体性や社会性を育成することができたか。	2.8	2.8				
	生徒指導	自己の可能性を高める人間力の育成	生徒が自己肯定感を高め、他者を尊重する精神や自ら良好な人間関係を形成しようとする姿勢を育むことができたか。	2.8	3.0	・生徒の意見や発想を生かした生徒会活動をさらに充実させ、主体性や責任感の育成を図る。 ・探究活動や協働学習の機会を意図的に位置付け、他者を尊重しながら良好な人間関係を築く力の育成につなげる。		A	A
			生徒の状況を的確に把握し、共有し、社会の構成員としてマナーを意識した生活支援をすることで、いじめの未然防止や問題行動等に迅速かつ適切な対応をすることができたか。	2.8	2.8		生徒の皆さんには、まだ自信を持ちきれない様子も見受けられるため、教職員や地域の大人が後押しし、一歩踏み出す機会を支えていくことが望まれる。達成状況は概ね良好であり、これまでの実績を踏まえ、今後も適切な推進が期待される。		
			行事や生徒会活動、部活動などにより、生徒の主体性や社会性を育成することができたか。	3.0	3.0				
			生徒が自己肯定感を高め、他者を尊重する精神や自ら良好な人間関係を形成しようとする姿勢を育むことができたか。	3.0	3.1				
			生徒の状況を的確に把握し、共有し、社会の構成員としてマナーを意識した生活支援をすることで、いじめの未然防止や問題行動等に迅速かつ適切な対応をすることができたか。	3.1	2.9				
			行事や生徒会活動、部活動などにより、生徒の主体性や社会性を育成することができたか。	3.1	2.9				
他者を尊重し社会性の向上を目指した体験活動の充実	生徒の変化に気づき適宜面談するなど生徒理解に努めたか。	生徒の変化に気づき適宜面談するなど生徒理解に努めたか。	3.2	2.9	・引き続きケース会議の開催によりSC・SSWと連携した多面的・多角的生徒理解の促進を進める。	A		A	
		生徒指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	3.1	2.7		昨年より評価が改善しており、計画の進捗は順調であると認められる。付帯意見として、SC・SSWの略語については学校外の委員には分かりにくいため、正式名称の記載や注記が必要との指摘があった。			
		生徒指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	3.0	2.9					
		生徒指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	3.0	2.9					
		生徒指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	2.8	2.7					
		生徒指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	2.8	2.7					
生徒指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	2.8	2.7							
健康・安全指導	健康の保持増進及び美化意識・安全意識の醸成	健康の保持増進に対する意識を高めるとともに、生徒がいつでも安心して相談できる体制を整えていたか。	3.2	2.9	・生徒が安心して相談できる健康相談体制のさらなる充実を図る。 ・防災教育の内容や方法を見直し、地域と連携した実践的な防災学校づくりを進める。	A	A		
		様々な危機への備えを意識できるよう指導できていたか。	3.1	2.7		達成状況は概ね良好であり、引き続き適切な推進が望まれる。			
		生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、持続可能な社会の形成者の育成	3.0	2.8					
		生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、持続可能な社会の形成者の育成	3.0	2.8					
		生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、持続可能な社会の形成者の育成	3.1	2.7					
		生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、持続可能な社会の形成者の育成	3.1	2.7					
生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、持続可能な社会の形成者の育成	3.1	2.7							
進路指導	社会的・職業的自立を目指したキャリア教育について探究学習を軸として横断的に実践する	キャリアパスポートを活用し、生徒の進路意識を高める進路指導が行えたか。	2.9	3.0	・総合的な探究の時間と進路指導を関連付けて推進し、総探委員会と進路指導部の連携を一層強化しながら、年間計画を継続的に見直し、キャリア意識の向上につなげる。	A	A		
		生徒のキャリアプランニング能力を高め、自分の未来を切り拓くための積極的な姿勢を育むことができたか。	3.0	2.8		達成状況は概ね良好であり、引き続き適切な推進が望まれる。あわせて、生徒の自主性・主体性を尊重しつつ、教員が適切に関わり導いていくバランスが重要である。			
		生徒のキャリアプランニング能力を高め、自分の未来を切り拓くための積極的な姿勢を育むことができたか。	2.9	2.9					
		資格取得やインターンシップ、オープンキャンパス等への参加など、主体的な姿勢を引き出すことができたか。	2.9	2.7					
		資格取得やインターンシップ、オープンキャンパス等への参加など、主体的な姿勢を引き出すことができたか。	3.0	3.0					
		資格取得やインターンシップ、オープンキャンパス等への参加など、主体的な姿勢を引き出すことができたか。	3.0	2.8					
資格取得やインターンシップ、オープンキャンパス等への参加など、主体的な姿勢を引き出すことができたか。	3.1	3.0							
進路指導	生徒一人一人に目を向けたきめ細かな進路指導の充実	資格取得やインターンシップ、オープンキャンパス等への参加など、主体的な姿勢を引き出すことができたか。	3.0	3.0	・学校運営協議会・学校・コンソーシアムそれぞれの役割を明確にし、情報共有と連携体制を強化することで、資格取得やインターンシップ等を通じた主体的な進路活動の充実を図る。	A	A		
		地元企業、大学、社会教育施設等と連携したインターンシップ等の企画・調整ができたか。	3.1	3.0		進路指導部が積極的に活動されている様子が見え、全体として良好に進んでいると感じており、今後も継続した取組を期待する。			
進路指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	3.2	2.8							
公表方法	本校ホームページ上での公表及び令和8年度第1回学校運営協議会								